

生体制御科学専攻 生体薬物制御学講座

薬理学分野

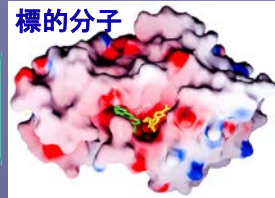
Department of Pharmacology



薬物探索

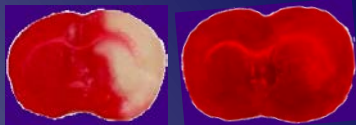


標的分子



基礎薬理学研究から創薬への挑戦

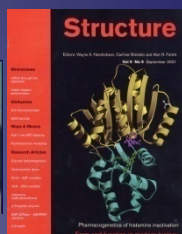
平成21年度全国発明表彰
21世紀発明奨励賞受賞



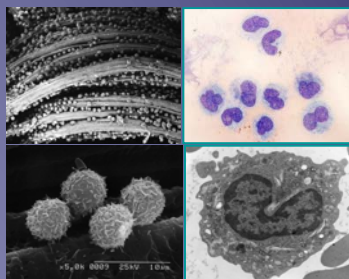
脳梗塞治療薬の発明
(特許第3876325号)

「薬理学における研究の醍醐味は？」と問われれば、「新しい薬の開発につながる研究をすること、あるいは新しい薬そのものを作り出すこと(創薬)」と答えたいと思っています。多くの薬理学研究者は同じ思いを抱いていると想像しますが、実はポストゲノム時代と呼ばれる今日、創薬の難しさを最もよく知っているのも薬理学研究者です。

薬理学教室では、生体の複雑性からくる創薬の「難しさ」を克服する方法として、特異抗体と疾患病態モデル動物を利用した標的分子の評価法を取り入れています。各種難治性疾患には未解明の炎症性反応過程が存在するとの仮定のもと、この方法を用いることによって、ヒトの疾患における標的選定の妥当性に対し、研究の早い段階でより直接的な情報を得られると考えています。そして、下図に示した三つの大きな階層に基づいて、それぞれに対応する評価系を構築し、創薬に挑戦したいと考えています。

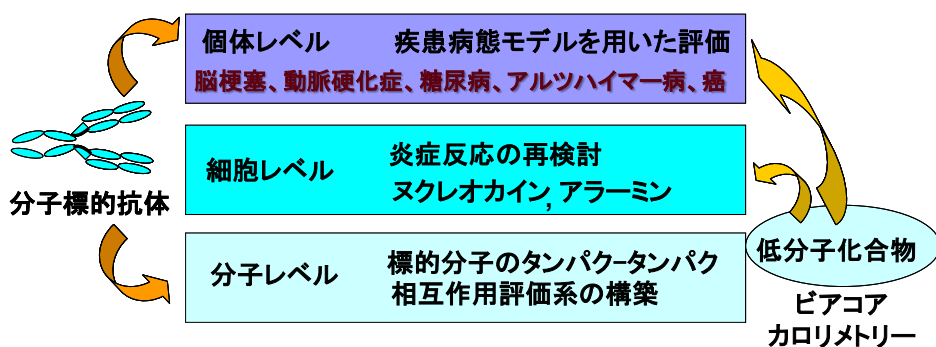


ヒスタミン代謝酵素の結晶構造解析



敗血症の体外循環カラム治療と
単球細胞吸着

複雑な生命現象の階層性に対応する評価系



厚生労働科学研究費補助金

H21-23年度「生活習慣病増悪フェーズの鍵分子『HMGB1』に対する分子標的抗体薬の臨床応用研究」
H25-27年度「新規血漿因子 HRG による好中球制御を介した敗血症と多臓器不全の治療法開発」

《連絡先》

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 生体制御科学専攻 薬理学(西堀 正洋)

〒700-8558 岡山市北区鹿田町2-5-1 総合研究棟3階

Tel: 086-235-7140 Fax: 086-235-7140

E-mail: mbori@md.okayama-u.ac.jp URL : <http://www.cc.okayama-u.ac.jp/~pharmaco/>